

◆ 第1学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Hi, English! Unit 0~7 Daily Scene 3	P.4~P.83
開隆堂	Let's Start PROGRAM 1~7 英語のしくみ ②	P.6~P.77
学校図書	Pre-lesson Let's Start Lesson 1~6 Talking Time	P.4~P.79
三省堂	Get Ready Lesson 1~6 Project ②	P.6~P.83
教育出版	Springboard Lesson 1~6 Part 2	P.2~P.77

◇ 第1学年 《取り扱う言語材料》

- 単文
- 肯定及び否定の平叙文（現在形）
- 疑問文のうち、動詞（現在形）で始まるもの、助動詞（do, does）で始まるもの及び疑問詞（what, who）で始まるもの
*ただし、How about you? の表現を含む
- 名詞の単数形及び複数形
- 文構造
 - [主語+動詞]
 - [主語+動詞+補語]のうち、主語+be動詞 + {名詞 代名詞 形容詞}
 - [主語+動詞+目的語]のうち、主語+動詞 + {名詞 代名詞}
- 代名詞
 - 人称、指示、疑問を表すもの
- 動詞の時制など
 - 現在形
- 音声に関するもの

★ 第1・2学年とも出題は《出題範囲を取り扱うページ》から行います。ただし、文法事項については、《取り扱う言語材料》に記載しているもののみとします。

※ 第1・2学年とも上記以外のページにある資料（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

◆ 第2学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Unit 0~5	P.4~P.77
開隆堂	Classroom English PROGRAM 1~6 英語のしくみ ③	P.6~P.61
学校図書	Pre-lesson Lesson 1~5	P.6~P.75
三省堂	Lesson 1~6 Review	P.6~P.79
教育出版	Lesson 1~6 Part 2	P.4~P.69

◇ 第2学年 《取り扱う言語材料》

- 単文、重文及び複文
- 肯定及び否定の平叙文
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞（can, doなど）で始まるもの、orを含むもの及び疑問詞（how, what, when, where, which, who, whose）で始まるもの
- 文構造
 - [主語+動詞]
 - [主語+動詞+補語]のうち、主語+be動詞 + {名詞 代名詞 形容詞}、主語+be動詞以外の動詞 + {名詞}
 - [主語+動詞+目的語]のうち、主語+動詞 + {名詞 代名詞 to不定詞}
- 代名詞
 - 人称、指示、疑問、数量を表すもの
- 動詞の時制など
 - 現在形、過去形、現在進行形、過去進行形及び助動詞などを用いた未来表現
- to不定詞
- have to, don't have to
- 音声に関するもの

日々の学習や苦手分野の復習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のウェブサイト
に復習教材として掲載していますので、ご活用ください。

☆ 復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r01_3_fukushu.html

大阪府公立高等学校入学者選抜調査書評定の府内統一ルール（1・2年生）について

- ① 府教育委員会は、各学年の2学期末までの府内公立中学校の評定の状況と、1月に実施するチャレンジテストの結果を使って、各学年の「府全体の評定平均」を定めます。
- ② 各中学校は、1月に実施するチャレンジテストの自校の結果と府全体の平均とを比べて、自校の各学年の「**評定平均の範囲**」を算出します。

[例] 中学1年生の府全体の評定平均が3.36の場合の「**評定平均の範囲**」

	X中学校	Y中学校	府全体
中1チャレンジテストの平均得点	57.0点	63.0点	60.0点
中1チャレンジテストの対府比【A】	0.95	1.05	1.00
評定平均の目安【B】 （「府全体の評定平均」×【A】）	3.19	3.53	3.36
評定平均の範囲（【B】±0.3）	2.89~3.49	3.23~3.83	—

- ③ 各中学校は、自校の各学年全体のチャレンジテスト実施教科（中学1年生は3教科（国、数、英）、中学2年生は5教科（国、社、数、理、英））の評定の平均と、②で求めた「**評定平均の範囲**」を比べ、適切な評価が行われているか検証します。「**評定平均の範囲**」に収まらない場合は、評価の方法の見直しを行った上で、評定をつけず。

※ 事業の一部（調査問題の配送・回収、採点・集計等）は、大阪府教育委員会が民間機関に委託して実施します。